

木材利用の活動報告

“地材地消”に向け、森林の効用を取り入れた取組

宗谷総合振興局 森林室 河村哲夫

取組の背景・目的

当森林室では、宗谷総合振興局の地域政策推進事業を活用しながら地域材の利用拡大への取組を行ってきた。その結果、地域材を使用した公共施設が増加傾向にあるものの、公共施設以外については地域材の利用が進んでいない。このことから、地域材のさらなる利用促進が必要と考え、近年、注目されている森林の効用や木材等が持つ優位性への理解を図り、地域材利用へと発展させることとした。

取組の内容

1 「登録林分」を活用した取組

登録林分の見学と情報発信

2 「森と家に癒され隊」の開催

住宅見学と木材の優位性・効能の話題提供

3 「癒しの森からの家づくりパネル展」の開催

登録林分、森の癒し効果、地材地消のPR



登録林分の見学



地域材使用の住宅見学

人と健康に
やさしい「木」

木材の効用のパンフ



パネル展

※登録林分：宗谷管内の一般民有林7齢級以上の優良なトドマツ・カラマツ人工林、H21～23年度で9林分、33.8ha、13,300㎡を登録

取組の成果

- ① 登録林分など優良な森林資源の存在を周知
- ② 木材の優位性の理解から、地域材利用に対する関心度が向上
- ③ 公共施設への地域材利用が加速化
- ④ 個人住宅にも徐々に地域材利用



公共育成牧場哺育牛舎（枝幸町）



個人住宅（枝幸町）

課題と今後の展開

1 「登録林分の取組」

・地域の木材需要に応えるため、「登録林分」を増やし、安定した森林資源の供給体制の整備と利用促進に向けた取組を実施。

2 工務店等との連携強化

・エンドユーザーと密接な関係にある工務店・設計者等との情報共有化が必要。
・工務店・設計者・製材工場・登録林分所有者・森林室等からなる組織化により、宗谷の森林資源の循環利用の確立と地域が連携した地域材利用推進に向けた取組を実施。

3 地域住民への「地材地消」推進

・継続した、間伐材の有効活用を含めた、「地材地消」意識の醸成が必要。
・体験型のイベントが効果的であることから、「地材地消」体感バスツアーを開催し、建築設計者からの講演、登録林分・木材加工工場の視察を行うなど、さらなる意識の醸成を図る取組を実施。